

取扱説明書

SANYO

保証書付

デジタルワイヤレスマイクシステム 品番 HM-W300

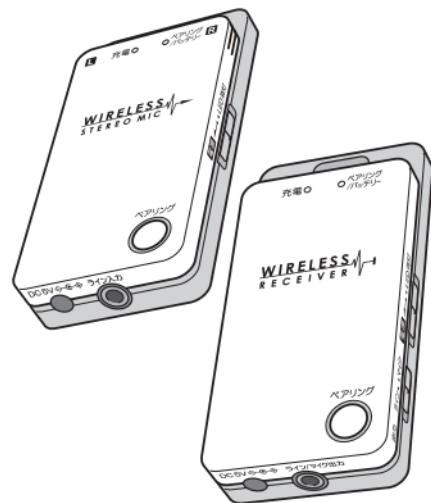
本機を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。

This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、
後々のために大切に保管してください。

●この取扱説明書は「保証書付」です。「お買い上げ日」「販売店」などの記入を必ず確かめ、販売店よりお受け取りください。

本機のご使用または故障により生じた損害、逸失した利益、ご使用に要した費用または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いません。



この商品には、リチウムイオン充電池を使用しています。リチウムイオン充電池のリサイクルにご協力ください。

使用上のご注意	3
必ずお読みください	4
安全上のご注意	5
<hr/>	
付属品を確認する	9
各部のなまえ	10
充電する	12
電源を入れる/切る	13
ペアリングする	14
<hr/>	
離れた場所の音声を録音する	15
レシーバーにスピーカーをつないで音楽を聴く	16
レシーバーにイヤホンをつないで音楽を聴く	17
<hr/>	
故障かな?と思う前に	18
お手入れについて	20
主な仕様	21
<hr/>	
保証書とアフターサービス	22
お客様ご相談窓口	23
無料修理規定	27
製品保証書	裏表紙

使用上のご注意

①お使いになる前に、事前に充電しておくことを推奨します。

バッテリーが残りわずかになった場合、[ペアリング/バッテリー]LEDが点灯(赤)します。バッテリーが無くなると[ペアリング/バッテリー]LEDが消灯します。

充電方法について：☞ 12 ページ

ステレオマイクとレシーバーは屋内で最大約30m、屋外で約10m離して使用できますが、到達距離は目安であり、周囲の環境により到達距離が変わる場合があります。

☞ 21 ページ

[ペアリング/バッテリー]LEDの点滅を伝送可能距離の目安としてください。

ステレオマイクとレシーバーの距離が伝送可能距離より離れると、[ペアリング/バッテリー]LEDが点滅(黄)から点灯(黄)に変わります。伝送可能な距離まで近付けると、ふたたび黄点灯に戻ります。

誤作動する場合、ステレオマイクおよびレシーバーの[リセット]ボタンを押してから、[電源/LED消灯]スイッチをスライドさせ、電源を入れ直してください。

各部のなまえ：☞ 10、11 ページ

メモ [リセット]ボタンは、クリップの先端など先の細いもので押してください。

本機は2.4GHz帯の周波数を使用しているため、障害物で電波がさえぎられた場合、または他の2.4GHz帯の周波数を使用する無線機器や電子レンジなどの干渉により音がとぎれることができます。

周囲の状況により、うまく作動しない場合は、障害物を取り除くか、使用場所を移動してください。

電波に関する注意事項

①周波数帯について

本機は無線周波数帯域として2.4GHz帯を使用しています。2.4GHz帯は医療機器や他の無線機器でも使用している場合があります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、次の内容をお読みになり、周囲の環境には十分にご注意ください。

本機の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局（以下「他の無線局」）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本機の使用場所を変えるか、または本機の使用を停止してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、当社お客様ご相談窓口にお問い合わせください。☞ 23 ページ



この無線機器の使用周波数は2.4GHz帯です。変調方式としてDQPSK変調方式を採用し、与干渉距離は約40mです。

使用上のご注意(つづき)

② 本機は電波法に基づく認証を受けており、本機背面に認証番号が印刷されています。

ステレオマイク ④ 003WW070380000
レシーバー ④ 003WW070390000

③ 本機は技術基準適応認定を受けており、本機を使用する際に無線局の免許は不要です。

但し、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

- 本機を分解/改造すること
- 本機に印刷してある認証番号をはがすこと

④ 本機を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。

国外でのご使用は当該国の電波関連規制などに違反する恐れがあります。

⑤ 電波による音声データの送受信は第三者に傍受される可能性がありますので、ご留意ください。

⑥ 他の HM-W300 を同時に使用する場合は、HM-W300 と他の HM-W300 との間を 1m 以上離してください。電波が干渉し、正常な通信ができない場合があります。

著作権・録音マナーについて

著作権やプライバシーなどを損なうことの無いよう、本機はモラルやマナーを守ってお使いください。

- 実演や興行の中には、個人として楽しむ目的であっても録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 放送やMD、CD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。あなたが録音したものは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

必ずお読みください

本機の不具合による機会損失などの補償については、当社では責任を負いません。あらかじめご了承ください。本機がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱いされた場合、または、当社および当社指定外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等についても当社は一切の責任を負いません。

※本書は製品開発に先がけて印刷されており、その後性能改善や操作性向上のため製品仕様の一部が変更となることがあります。その場合は製品自体の仕様が優先されます。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

安全のため必ずお守りください。

■ 絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じことがあります。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および、物的損害の可能性があります。

■ 絵表示の例

△「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。

○「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。

本体について



■ 分解・改造しない



本機を分解、改造しないでください。
火災、感電の原因となります。内部の点検および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 心臓ペースメーカーなど電子医療機器を装着した方は、本機を絶対に使用しない



本機の特性上、医療機器の正常な作動を損なう恐れがあります。



■ 病院などの医療機関内、航空機内では、本機を絶対に使用しない

電波が影響を及ぼし、誤作動による事故の原因になる恐れがあります。



■ 内部に水や異物を入れない、また風呂やシャワー室で使用しない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。



■ 極端な温度条件のもとでは使用しない

結露などによる火災や感電の原因になります。
温度が5°C未満、または35°Cを超える場所では使用しないでください。



温氣の多い場所で使用しないでください。身に付けている場合は、汗による温氣で故障の原因となることがあります。
水ぬれや温氣で故障と判明した場合は、保証の対象外となり無料修理はできません。

■ 置き場所に注意

湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。



また、窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。



安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意

■ 電磁波の強い場所では使用しない



禁止

高压ケーブルや携帯電話など、電磁波の強い場所やデバイスの近くでの使用はノイズが入ることがありますので避けてください。

■ 磁気の発生や影響する場所に近づけない

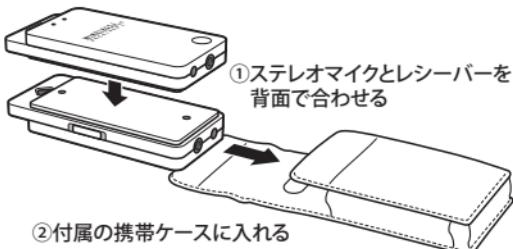


注意

磁気の発生する近くに本機を置かないでください。また、本機を磁気カード類とも一緒にしないでください。磁気データが壊れて使用できなくなることがあります。

本機を携帯するときの注意

ステレオマイクに内蔵されたマグネットの磁気の影響を軽減するため、本機を携帯する際はステレオマイク背面（マグネット面）とレシーバーの背面（金属板内蔵面）を合わせて携帯ケースに入れてください。



※ ステレオマイクまたはレシーバーを、携帯ケースに入れてステレオオーディオケーブルを接続する場合、本機底面の端子部がケースの穴側になるよう、上図とは逆向きに入れてください。

内蔵充電池について

⚠ 危険

■ 液漏れ、変色、変形、外傷、変なにおいなどに気付いたときは、すぐに使用を中止し、火気から遠ざける



注意

異常状態のまま使用を続けると、発火、破裂、電解液の噴出、発煙の原因となります。

液漏れしている場合は、火気に近づけると電池の電解液に引火し、発火、破裂、電解液の噴出、発煙の原因となります。

■ 変形・分解・改造しない



分解禁止

変形、分解、電池に直接ハンダづけするなどの改造をすると、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れの原因となります。

■ 火中に投入したり、加熱しない



絶縁物が溶けたり、安全機構を損傷したり、電解液に引火したりするため、発火や破裂の原因となります。

■ 付属の AC アダプター以外では充電しない



禁止

他の AC アダプターで充電すると、過度あるいは異常な電流での充電状態となって電池内で異常な化学反応が起こり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。

■外装をはがしたり、傷つけたりしない



外装をはがす、釘を刺す、ハンマーで叩く、踏みつけるなどすると電池内部でショート状態となり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。

禁止

■所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止める



そのままつづけて充電すると、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。

禁止

⚠ 注意

■充電して使う



電池が消耗したときは、必ず充電してからご使用ください。充電中に電池が温くなることがあります、異常ではありません。

注意

■使用前に残量を確認する



使用中にペアリング/バッテリーLEDが点灯(赤)したときは、すぐに使用をやめて、充電してください。

注意

充電池が液漏れしたとき

液が本体内部に残ることがありますので、当社のお客さまご相談窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になりますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときも、やけどなどの原因になりますので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症などの症状がでたときには、医師に相談してください。

充電池の交換について

充電池は消耗品です。充電・放電を繰り返すうちに使用できる時間は短くなります。使用できる時間が最初に比べて約半分になったときは、充電池の交換時期です。交換については、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口までご依頼ください。

リサイクルのお願い

この商品には、リチウムイオン電池を使用しております。リチウムイオン充電池はリサイクル可能な資源です。ご使用済み商品の廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。

安全上のご注意(つづき)

AC アダプターについて



警告

■付属の専用 AC アダプター以外を使わない



指定外の AC アダプターを使うと、火災・感電の原因になります。

■コンセントに確実に接続する



発熱などにより、火災の原因になります。

■電源コードを束ねたまま使わない



発熱などにより、火災の原因になります。

■専用 AC アダプターや電源コードを傷付けない



- ・ 重いものを乗せない。
- ・ 途中でつぎ足したりして、加工しない。
- ・ 無理に折り曲げない。
- ・ ねじったり、引っぱったりしない。
- ・ 热器具に近付けない。

発熱などにより、火災の原因になります。

■専用 AC アダプターが傷んだときは、使わない



そのまま使うと、火災・感電の原因になります。
お買い上げの販売店に、交換をご依頼ください。

■たこ足配線はしない



発熱などにより、火災の原因になります。

■雷が鳴り出したら、専用 AC アダプターにさわらない



感電の原因になります。



■ぬれた手でさわらない



感電の原因になります。



■抜くときは、専用 AC アダプターを持って抜く

コードを引っぱると、コードが傷付き、火災・感電の原因になります。



注意



注意

■お手入れするときや、長期間使わない場合は、専用 AC アダプターをコンセントから抜く

火災の原因になります。

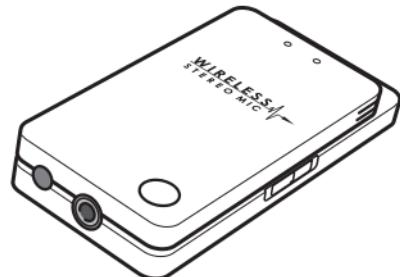


注意

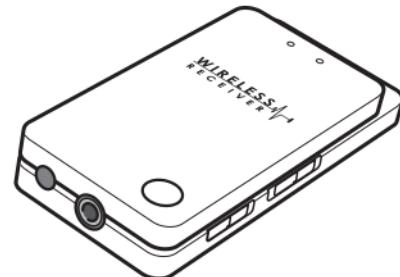
付属品を確認する

箱から出してそろっているかお確かめください。

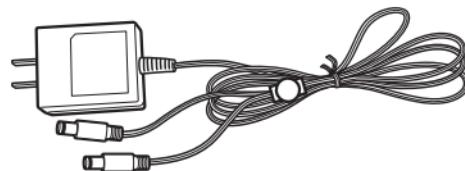
- ステレオマイク(発信機)本体 1



- レシーバー(受信機)本体 1



- ACアダプター 1



- ステレオオーディオケーブル(抵抗なし) 1

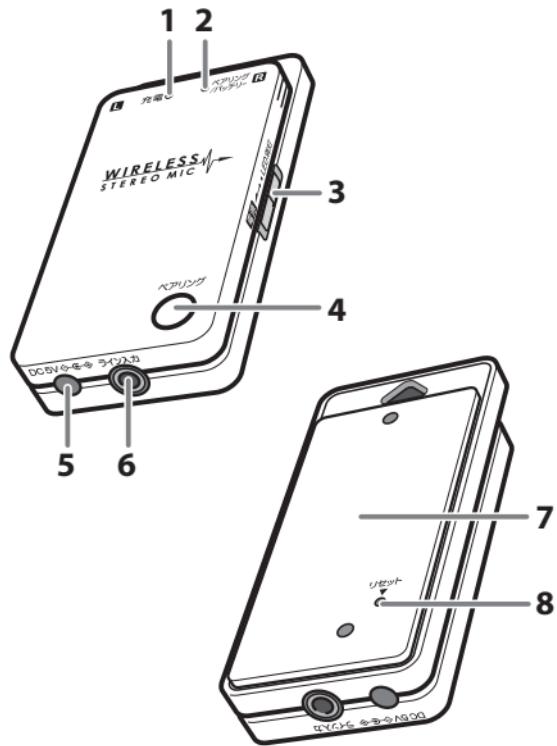


- 携帯ケース 1

- 本書(保証書付) 1

各部のなまえ

■ ステレオマイク(発信機)



1 [充電]LED

以下のように動作します。

充電中	点灯(赤)
充電完了	消灯

2 [ペアリング/バッテリー]LED

3 [電源/LED消灯]スイッチ

4 [ペアリング]ボタン

5 [DC 5V IN]端子

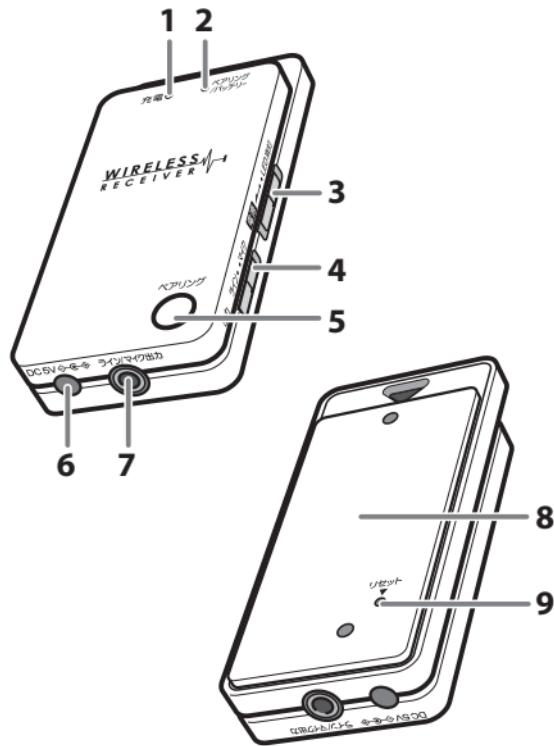
6 [ライン入力]端子

7 マグネット(内蔵)

ステレオマイクは金属製のものに貼り付けて設置できます。

8 [リセット]ボタン

■レシーバー(受信機)



1 [充電]LED

以下のように動作します。

充電中	点灯(赤)
充電完了	消灯

2 [ペアリング/バッテリー]LED

3 [電源/LED消灯]スイッチ

4 [ライン/マイク]切替スイッチ

ステレオオーディオケーブルで接続する外部機器に合わせてライン/マイクを切り替えてください。

例1 オーディオ機器と接続 ----- ライン

例2 録音機のマイク端子と接続 ----マイク

5 [ペアリング]ボタン

6 [DC 5V IN]端子

7 [ライン/マイク出力]端子

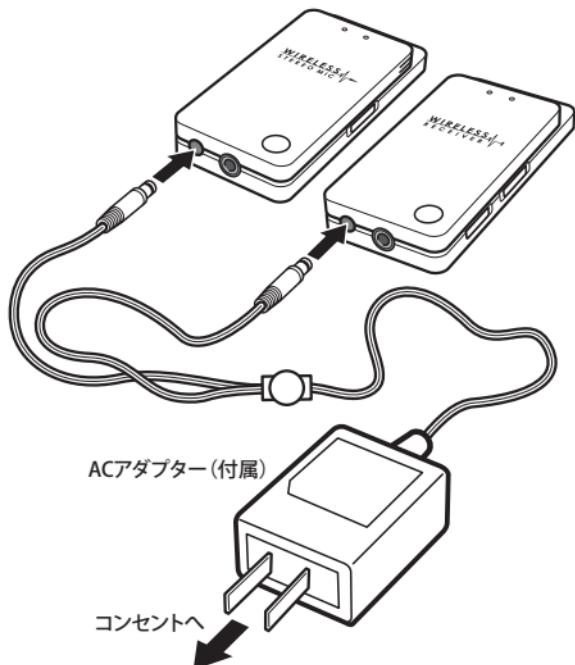
8 金属板(内蔵)

本機を携帯するときはステレオマイクの背面(マグネット面)とレシーバーの背面を合わせて携帯ケースに入れてください。

9 [リセット]ボタン

充電する

- 本機を初めてご使用になる場合は、必ず充電してください。
- 使用中に [ペアリング / バッテリー] LED が点灯 (赤) したら、充電池の残量が不足しています。すぐに使用をやめて充電してください。



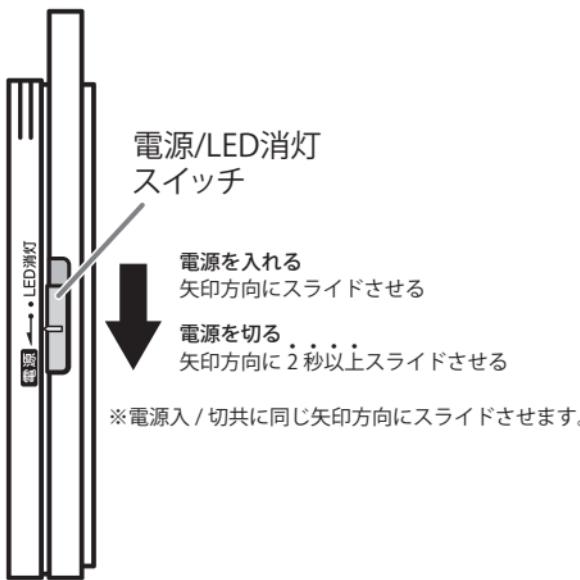
1. ステレオマイクおよびレシーバーの[DC 5V IN]端子にACアダプターを接続する
充電には付属のACアダプターを使用します。ACアダプターにはステレオマイクとレシーバーをふたつ同時に接続できます。
2. ACアダプターをコンセントに接続する
[充電]LEDが点灯(赤)し、充電が開始されます。充電が完了すると、[充電]LEDが消灯します。

メモ

- 充電時間は約2時間30分です。ステレオマイク/レシーバーをふたつ同時に充電しても、いずれか片方だけ充電しても充電時間は同じです。
- 充電時間は、電池残量によって異なります。

電源を入れる/切る

(側面)



上図はステレオマイクですが、レシーバーも
同様に操作します。

電源を入れる

ステレオマイク/レシーバーの[電源/LED消灯]スイッチを矢印方向にスライドさせる

- 電源を入れると、[ペアリング/バッテリー]LEDが点灯(黄)します。ステレオマイク/レシーバーの両方の電源を入れると、[ペアリング/バッテリー]LEDがゆっくり点滅(黄)し、音声の伝送を開始します。

電源を切る

[電源/LED消灯]スイッチを矢印方向に2秒以上スライドさせる

- 電源が切れると、[ペアリング/バッテリー]LEDが早く点滅(黄)した後、消灯します。

LED表示を消す

使用中にLED表示を消したい場合は、[電源/LED消灯]スイッチを「LED消灯」の方向にスライドさせます。

ペアリングする

他のHM-W300のステレオマイク/レシーバーに音声を伝送したい場合はペアリング(同期)を行い、ステレオマイクとレシーバーのペアを新しく設定します。この場合、新しく設定したペアの間でのみ音声が伝送されます。

- ご購入された1セットだけでご使用になる場合は、ペアリングする必要はありません。

1. ペアリングしたいステレオマイクとレシーバーの電源を入れる
2. ステレオマイクまたはレシーバーの[ペアリング]ボタンを2秒以上押す
ペアリングが開始され、[ペアリング//バッテリー]LEDが早く点滅(黄)します。
3. 手順2から20秒以内に、もう一方の[ペアリング]ボタンを2秒以上押す
[ペアリング//バッテリー]LEDがゆっくりの点滅(黄)に変わりペアリングが完了します。



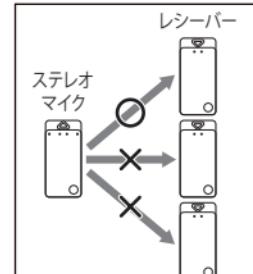
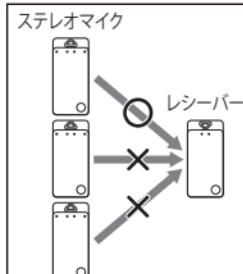
ペアリングする時は、ステレオマイクとレシーバーの間を約30cm位あけてください。



	通信していない	通信中 (正常に通信)	ペアリング中 (通信が不安定)
電源 OFF	消灯	消灯	消灯
電源 ON	点灯(黄)	ゆっくり点滅(黄)	早く点滅(黄)
電池残量少	点灯(赤)	ゆっくり点滅(赤)	早く点滅(赤)



本機はステレオマイクとレシーバーを1組のペアとして使用します。複数のステレオマイクから1台のレシーバーに同時に音声を伝送したり、1台のステレオマイクから複数のレシーバーに同時に音声を伝送することはできません。



● 1対1でのみ使用できます。

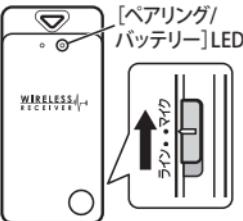
離れた場所の音声を録音する

レシーバーに録音機/録画機(ボイスレコーダーやムービーカメラなど)に接続し、離れた場所に置いたステレオマイクからの音声を録音します。

ステレオマイク(発信機)



レシーバー(受信機)



マイク入力端子へ
オーディオケーブル(付属)



マイク入力端子へ
オーディオケーブル(付属)

1. レシーバーの[ライン/マイク]切替スイッチを「マイク」に切り替える

2. レシーバーの[ライン/マイク出力]端子と録音機のマイク入力端子をオーディオケーブル(付属)で接続する

3. ステレオマイクとレシーバー、および録音機/録画機の電源を入れる

ステレオマイクとレシーバー間で正常に通信されていると、[ペアリング/バッテリー]LEDがゆっくりと点滅(黄)します。

4. 録音を開始する

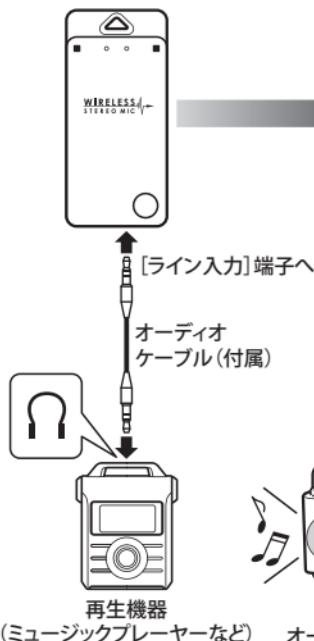


- 本機では、音量を調節することができません。本機と接続する録音機/録画機で、録音レベルを調節してください。
- 事前に正常に録音されているか、試し録りをして確認してください。
- 録音機/録画機がステレオ録音に対応していない場合、録音した音声はモノラルになります。

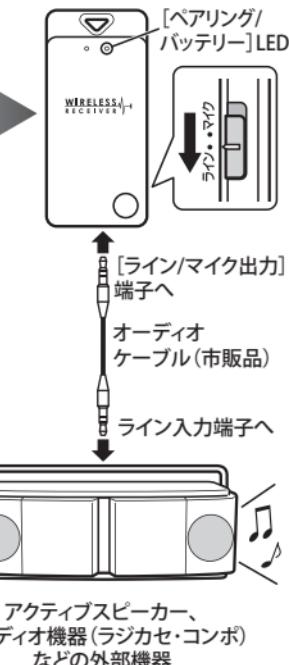
レシーバーにスピーカーをつないで音楽を聞く

ステレオマイクに再生機器(ミュージックプレーヤーなど)を接続し、レシーバーにアクティブスピーカーやオーディオ機器を接続して、音楽などを離れた場所に飛ばして聴きます。

ステレオマイク(発信機)



レシーバー(受信機)



- ステレオマイクをオーディオ機器に近づけすぎないようにしてください。ハウリングが発生することがあります。

1. ステレオマイクの[ライン入力]端子と再生機器の音声出力端子をオーディオケーブル(付属)で接続する

2. レシーバーの[ライン/マイク]切替スイッチを「ライン」に切り替える

3. レシーバーの[ライン/マイク出力]端子とアクティブスピーカーやオーディオ機器のライン入力端子をオーディオケーブル(市販品)で接続する

4. ステレオマイクとレシーバー、および再生機やオーディオ機器の電源を入れる

ステレオマイクとレシーバー間で正常に通信されていると、[ペアリング/バッテリー]LEDがゆっくりと点滅(黄)します。

5. 再生機器の音源を再生する

スピーカーから音声が流れます。



- 本機では、音量を調節することができません。本機と接続する再生機器/外部機器で、再生音量を調節してください。

- 市販品のオーディオケーブルをご使用になる場合は、"抵抗なし"タイプをご使用ください。また、ケーブル先端のプラグの種類にご注意ください。

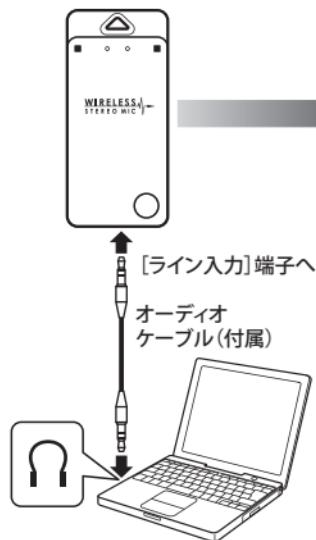
本機側： ステレオミニプラグ、Φ3.5mm

外部機器側：その機器の接続端子に合ったものをご使用ください。

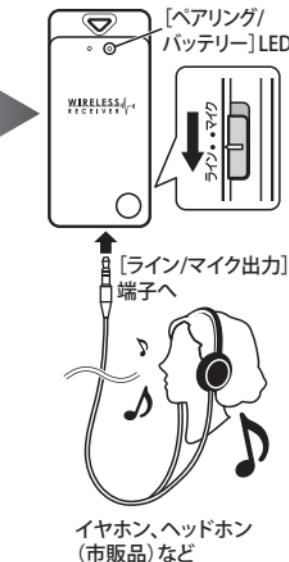
レシーバーにイヤホンをつないで音楽を聴く

例えば、パソコンに保存してあるお気に入りの曲を、レシーバーに接続したイヤホンから聴くことができます。

ステレオマイク(発信機)



レシーバー(受信機)



1. ステレオマイクの[ライン入力]端子とパソコンの音声出力端子をオーディオケーブル(付属)で接続する

2. レシーバーの[ライン/マイク]切替スイッチを「ライン」に切り替える

3. レシーバーの[ライン/マイク出力]端子にイヤホン(市販品)などを接続する

4. ステレオマイクとレシーバー、およびパソコンの電源を入れる

ステレオマイクとレシーバー間で正常に通信されていると、[ペアリング/バッテリー]LEDがゆっくりと点滅(黄)します。

5. パソコンに保存してある曲を再生する

イヤホンより再生している曲が楽しめます。



本機では、ポータブルCD/MDプレーヤーなどに付属されているリモコン付きの4極プラグ端子のステレオヘッドホンはご使用になれません。

故障かな?と思う前に

音声が聞こえない

原因	充電池の残量不足
解決方法	充電してください。(P.12)
原因	電源が入っていない
解決方法	ステレオスピーカーとレシーバーの両方で電源が入っていないと音声は聞こえません。(P.13)
原因	電波が干渉している
解決方法	電子レンジなど、電波が干渉するものを遠ざけてください。また、電源をいったん切り、再度入れなおすと解決することがあります。(P.3)
原因	伝送距離を越えているか、障害物がある
解決方法	ステレオスピーカーとレシーバーは最大約30mまで離すことができます。ただし障害物の有無などで伝送距離が短くなることがあります。レシーバーをもう少し近い場所に移動させるか、電波干渉を起こす機器の使用を中止してください。(P.3)

音が割れる、音が小さい

原因	接続する外部機器の端子に合わせてライン/マイクが切り替わっていない
解決方法	接続する外部機器に合わせてライン/マイクを切り替えてください。(P.15 ~ 17)

音声が途切れる

原因	伝送距離を越えているか、障害物がある
解決方法	ステレオスピーカーとレシーバーは最大約30mまで離すことができます。ただし障害物の有無などで伝送距離が短くなることがあります。レシーバーをもう少し近い場所に移動させるか、電波干渉を起こす機器の使用を中止してください。(P.3)

録音するとガサガサ雑音が聞こえる

原因	録音中にステレオマイクを動かしたり、触っている
解決方法	録音中にステレオマイクに触るとその音が録音されてしまいます。録音中はできるだけ、ステレオマイクを動かしたり、触ったりしないようにご注意ください。

充電できない、充電池のもちが悪い

原 因	充電池の寿命
解 決 方 法	充電池は消耗品です。使用できる時間が最初に比べて約半分になったときは、充電池の交換時期です。お買い上げ店またはお客様ご相談窓口まで交換をご依頼ください。(P.23 ~ 26)

外部機器にうまく録音できなかった

原 因	充電池の残量不足
解 決 方 法	充電してください。(P.12)

ペアリングできていない (ペアリング LED が点灯(黄)している)

原 因	[ペアリング]ボタンが押されて、ペアリングが外れている
解 決 方 法	再度ペアリングしてください。(P.14)

お手入れについて

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、柔らかい布でからぶきをしてください。

- ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがあります、故障ではありません。

主な仕様

RF仕様

伝送(変調)方式	：DQPSK
搬送波周波数	：2.4GHz～2.48GHz
到達(通信)距離	：屋内約30m(障害物がない直線距離) 屋外約10m(障害物がない直線距離) ※本距離を保証するものではありません。以下の環境により距離が短くなる場合があります。 <ul style="list-style-type: none">・ステレオマイクとレシーバーの間に金属、人、壁や反射面などの障害物がある場合・ステレオマイクとレシーバーを直接地面や床に置いて使用する場合・雨天時の屋外や、池などの水面がステレオマイクとレシーバーの間にある場合・無線LANが設置されている場所、複数の無線機器が使用されている場所や電子レンジの使用等により電磁波が発生している場所
内蔵電池	：リチウムイオン充電池

オーディオ仕様(ライン出力—ライン入力時)

オーディオフォーマット	：ステレオ、PCM、48kHz、16bit
周波数特性	：30Hz～20kHz

その他

電池寿命	：ステレオマイク 約7時間 レシーバー 約9時間
充電時間	：約2時間30分
ライン/マイク出力端子：	ステレオミニジャック φ3.5mm
最大外形寸法	
[マイク側]	：幅40×高さ86×奥行き12.8mm
[レシーバー側]	：幅40×高さ86×奥行き12.8mm
質量	
[マイク側]	：約42g
[レシーバー側]	：約41g
付属品	
ACアダプター DC5V	(1)
ステレオオーディオケーブル(φ3.5mm)	(1)
携帯ケース	(1)
本書(保証書付)	(1)

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この商品には保証書がついています。お買い上げの際、販売店が発行します。
- 所定事項の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書の18ページからをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店か、または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

お問い合わせの際、本機背面に貼ってあるラベルに書かれた製造番号（シリアルナンバー）をお知らせください。

保証期間中の修理は

保証書の規定に従い、お買い上げの販売店が修理させていただきます。製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間経過後の修理は

修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間について

ワイヤレスマイクの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後6年間です。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

お客さまご相談窓口

まずはお買い上げ販売店へ

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げ販売店へお申し出ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記の相談窓口にお問い合わせください。

総合相談窓口: 家電製品についての全般的なご相談
修理相談窓口: 修理サービスについてのご相談

総合相談窓口（全般的なご相談）
三洋電機（株） お客様センター

相談受付時間 9:00～18:30 (365日)

☎ 050-3116-3434

※上記番号をご利用できない場合は

大阪 (06)6994-9570 におかけください。

※郵便・FAXでご相談される場合

三洋電機(株) お客様センター

FAX (06) 6994-9510

〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2-5-5

家電商品の修理サービスについてのご相談 <三洋電機サービス株式会社>

受付時間 月曜日～金曜日 [9:00～18:30]

土曜・日曜・祝日・当社休日 [9:00～17:30]

東コールセンター

関東・甲信越地区	050-3116-2222 東京 (03)5302-3401
北海道地区	050-3116-2333
東北地区	050-3116-2444

西コールセンター

近畿・北陸・四国地区	050-3116-2555 大阪 (06)4250-8400
中部地区	050-3116-2666
中国地区	050-3116-2777
九州地区	050-3116-2888
沖縄地区※	098-944-5018

※受付時間:月曜日～土曜日9:00～12:00、13:00～17:30
(日曜、祝日および当社休日を除く)

持込み修理および部品についてのご相談 <三洋電機サービス株式会社>

受付時間 月曜日～金曜日9:00～17:30 (日曜、祝日を除く)

ご相談は、各地区サービスセンターで承っております。最寄の拠点は別記一覧もしくはホームページでご確認ください。<http://www.sanyo.co.jp>



お客さまご相談窓口(つづき)

お客さまご相談窓口における お客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理致します。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示はおこないません。

＜利用目的＞

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機(株)および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ
<http://www.sanyo.co.jp> をご覧ください。

北海道地区

札幌 (011) 831-9201 〒003-0013 札幌市白石区中央三条4-1-36
函館 (0138) 48-8301 〒041-0824 函館市西桔梗町589-295
旭川 (0166) 22-2421 〒070-0073 旭川市曙北三条7-3-3
北見 (0157) 23-4871 〒090-0037 北見市山下町4-7-14
釧路 (0154) 22-1576 〒085-0035 釧路市共栄大通3-1-6

東北地区

仙台 (022) 287-8351 〒984-0032 仙台市若林区荒井字丑ノ頭43-1
青森 (017) 729-3401 〒030-0141 青森県青森市上野字山辺29-5
盛岡 (019) 623-1600 〒020-0824 岩手県盛岡市東安庭2-12-1
山形 (023) 641-1769 〒990-2331 山形県山形市飯田西4-5-35
秋田 (018) 862-6551 〒011-0901 秋田県秋田市寺内イサノ/93-1
郡山 (024) 945-6793 〒963-0107 福島県郡山市安積3-120

関東・甲信越地区

さいたま (048) 778-3095 〒362-0025 埼玉県上尾市上尾下780-1
坂戸 (049) 284-8900 〒350-0214 埼玉県坂戸市千代田5-3-17
宇都宮 (028) 614-3883 〒321-0111 栃木県宇都宮市川田町字
免/内765-5
つくば (0298) 64-4751 〒300-3261 茨城県つくば市花畠2-15-3
水戸 (029) 251-4125 〒311-4152 茨城県水戸市河和田3-2386-1

関 東・甲信越 地 区(つづき)

伊勢崎 (0270) 40-7611 〒372-0003 群馬県伊勢崎市華蔵寺町87-1
新潟 (025) 285-2431 〒950-0942 新潟県新潟市中央区小張木
2-16-43
城東 (03) 5697-8160 〒120-0005 東京都足立区綾瀬7-22-15
綾瀬7丁目ビル
城北 (03) 5914-3413 〒174-0051 東京都板橋区小豆沢1-23-10
城西 (03) 5347-0761 〒167-0032 東京都杉並区天沼3-12-12テック杉並
武藏野 (042) 364-7721 〒183-0033 東京都府中市分梅町5-9-1
横浜 (045) 827-2831 〒224-0806 神奈川県横浜市戸塚区上品濃9-14
相模原 (042) 788-2760 〒194-0012 東京都町田市金森851-3
千葉 (043) 208-3800 〒260-0842 千葉県千葉市中央区南町3-7-15
鎌ヶ谷 (047) 441-0111 〒273-0105 千葉県鎌ヶ谷市鎌ヶ谷7-6-59
甲府 (055) 226-2561 〒400-0035 山梨県甲府市飯田4-8-23

中 部 地 区

名古屋 (052) 485-3620 〒453-0816 愛知県名古屋市中村区京田町2-1
岐阜 (058) 246-3417 〒501-6006 岐阜県羽島郡岐南町伏屋1-35
静岡 (054) 236-0691 〒422-8034 静岡市駿河区高松2-26-10
沼津 (055) 935-0501 〒410-0822 静岡県沼津市下香貫七面1152-2
浜松 (053) 461-8685 〒430-0812 静岡県浜松市本郷町123
松本 (0263) 40-3411 〒390-0852 長野県松本市島立1064-1
金沢 (076) 292-2060 〒921-8005 石川県金沢市間明町2-100

中 部 地 区(つづき)

富山 (076) 422-7020 〒939-8211 富山県富山市二口町1-13-8
福井 (0776) 53-7134 〒910-0834 福井県福井市丸山1-1002
津 (059) 236-5195 〒514-0111 三重県津市一身田平野285-2

近畿 地 区

大阪 阪 (06) 6992-6235 〒570-0086 大阪府守口市竹町4-13
大阪 南 (06) 6761-4600 〒543-0001 大阪府大阪市天王寺区上本町
5-1-14三洋ビル2F
阪和 (072) 221-8571 〒590-0026 大阪府堺市堺区向陵西町
2-1-24
京都 (075) 645-1434 〒612-8427 京都市伏見区竹田真幡木町
26-1
奈良 (0744) 22-7888 〒634-0817 奈良県橿原市寺田町113-1
滋賀 (077) 514-2221 〒524-0021 滋賀県守山市吉身4-1-24
南井産業第3ビルB棟
和歌山 (073) 473-7112 〒640-8301 和歌山県和歌山市岩橋1636-1
神戸 (078) 641-1251 〒653-0038 兵庫県神戸市長田区若松町
2-1-9 ピアザビル3F
阪神 (06) 6432-3401 〒661-0026 兵庫県尼崎市水堂町4-17-6
姫路 (0792) 82-7892 〒670-0943 兵庫県姫路市市之郷町1-9
淡路 (0799) 42-6015 〒656-0478 兵庫県南あわじ市市福永536-1



お客さまご相談窓口(つづき)

中 国 地 区

広 島 (082) 293-6511 〒733-0012 広島県広島市西区中広町2-1-2
福 山 (084) 954-4101 〒721-0952 広島県福山市曙町4-22-10
岡 山 (086) 245-1634 〒700-0973 岡山県岡山市下中野703-101
鳥 取 (0857) 24-2930 〒680-0843 鳥取県鳥取市南吉方3-107
松 江 (0852) 23-1183 〒690-0044 島根県松江市浜乃木2-15-3
山 口 (083) 973-3391 〒754-0024 山口県山口市小郡若草町2-6

四 国 地 区

松 山 (089) 979-3486 〒799-2655 愛媛県松山市馬木町274
高 松 (087) 843-1840 〒761-0101 香川県高松市春日町片田
1657-1
高 知 (088) 831-2570 〒780-8007 高知県高知市仲田町6-12
徳 島 (088) 699-4131 〒771-0219 徳島県板野郡松茂町笹木野字
八北開拓189-1

九 州 地 区

福 岡 (092) 928-3414 〒818-8534 福岡県筑紫野市紫6-1-1
北 九 州 (093) 521-5286 〒802-0004 福岡県北九州市小倉北区
鋼治町2-4-7
長 崎 (095) 813-3545 〒851-0101 長崎県長崎市古賀町1006-5
熊 本 (096) 388-3434 〒861-8045 熊本県熊本市小山3-2-11
熊本トラックターミナル内
大 分 (097) 543-3454 〒870-0829 大分県大分市椎迫5-6組
宮 崎 (0985) 29-3441 〒880-0022 宮崎県宮崎市大橋3-224
鹿 児 島 (099) 251-4615 〒890-0068 鹿児島県鹿児島市東郡元町
11-10

沖 縄 地 区

沖 縄 (098) 944-5018 〒903-0103 沖縄県中頭郡西原町小那霸1303
沖縄三洋販売(株) サービス部

(010407J)

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することができますので、ご了承ください。

無料修理規定

お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本書をご持参ご提示ください。

1. 保証期間でも次のような場合には有料修理となります。
 - イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - ロ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
 - ニ. 業務用としての使用、車両・船舶への搭載など一般家庭以外に使用された場合の故障または損傷。
 - ホ. 本書の提示がない場合。
 - ヘ. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ト. 消耗品の交換・仕様変更など。
2. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理をおこなった場合の出張料はお客様の負担となります。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。

4. ご贈答品等で本書に記入の販売店に修理をご依頼になれない場合には、「お客様ご相談窓口」をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。

- 保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間にについて詳しくは「保証書とアフターサービス」をご覧ください。

三洋電機株式会社

パーソナルモバイルグループ DIカンパニー 国内販売担当

〒574-8534 大阪府大東市三洋町1番1号

ユーザーサポートホームページアドレス <http://www.sanyo-audio.com/support/index.html>
(JP0)

8E728925072--